

令和3年度 自己評価

宗教学人日本基督教団戸山教会

戸山幼稚園

1. 園の教育目標

教育理念「キリスト教保育に基づき、明るく素直な生活態度、逞しい身体、豊かな情操を育むことを保育理念とする。」

- ・ 神を賛美し、つねに感謝する子ども
- ・ 自ら考え想像し、仲間と共に遊びや生活を作り出す子ども
- ・ 異年齢児と親しく関わり、育ちあう子ども
- ・ 豊かな自然と関わる創造的な子ども

2. 本年度に定めた重点的に取り組む目標

「キリスト教保育に基づく」充実を図るため、お祈りや礼拝を見直す。

3. 評価項目の達成および取り組み状況

評価項目	取り組み内容	自己評価	評価
保育について	・ 子どもたちのお祈りをよりよいものとする ・ 礼拝の質の向上を目指す	食事前などのお祈りの現状を振り返り、子どもらしさの中にも良いお祈りの精神と姿勢が保てるよう指導した。 園内での礼拝を月1回励行し、子どもたちの行事などとの関連で意味深い内容になるように努めた。先生たちの教会学校の子ども礼拝や教会の成人礼拝への参加も園のキリスト教保育方針に資するものとして実行している。	A
	・ 教育目標・重点目標の設定 ・ 年間指導計画の作成 ・ 職員間の子どもに対しての共通理解 ・ 各クラス、たてわり保育の運営	担任間で話し合い年間指導計画、アプローチカリキュラムの作成をおこなった。話し合った内容を検討し、かつ、共通理解が図れるように工夫した。指導計画をもとに、毎週末、子どもたちの様子や一週間の振り返りをおこなって、次週に生かす保育を実施した。	A
研修(資質向上の取り組み)	・ 教育の質の向上のため園内研修を充実 ・ 園外研修の参加	毎週、各担任が自身の保育について振り返り資料を作成し、全職員で事例検討をおこなっている。新人からベテランまで意思疎通することで、保育力の向上につなげている。 感染対策のため、中止になった研修もあったが、リモートなどを活用して保育の質を高める努力をした。	A

教育環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・園の安全、維持管理のための整備 ・遊具、用具の購入 	<p>滑り台のすべり面をステンレス化、年長組保育室を LED 照明化、夏の暑さ対策のための遮熱ネット設置、チャドクガ発生による椿木の切除、ゴムチップ敷設の一部補修、砂場の砂の追加など園舎内と園庭の整備補修をおこなった。</p> <p>遊具としては、水遊び用の噴水器、経年劣化した三輪車、跳び箱・マットなどを新調した。</p>	B
食育の充実	夏野菜の観察と収穫	<p>年長児が夏野菜を栽培し、観察、収穫をした。</p> <p>コロナウイルス感染防止のため、収穫感謝やお別れパーティーなどの調理を前年度同様、見合わせた。</p>	C
特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の理解を深める ・当該児に対しての個別の配慮 ・関係機関との連携 ・家庭との連携 	<p>特別支援関係の研修や定例会に積極的に参加し、独自の援助方法を見出しながら、学びを深めてきた。</p> <p>園児の実態把握を担当が率先しておこない、事例検討を共有した。気になる園児に対しては発達支援機関と密に連絡を取り、対応を協議した。</p> <p>職員、保護者、支援機関との話し合いの場を設け、実施した。就学児に関しては、小学校とも連携した。</p>	A
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て相談の実施 ・子育て相談会の実施 	<p>本園教諭による子育て講演会を年 3 回おこなった。5 歳児保護者対象の回には外部講師を招き、就学を含めた内容で、大変好評だった。</p> <p>コロナウイルス急拡大のため、予定していた未就園児向けのプレ保育や園庭開放を急遽見合わせた。</p>	B
社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・ Bangladesh への献金 ・古切手、コインの寄付 	<p>クリスマスに合わせ、JOCS（日本キリスト教海外医療協力会）職員の講習会を開催、同年齢の子どもたちへ心を寄せようと、Bangladesh の恵まれない子どもたちへの献金を呼び掛けた。古切手やコインの寄付を年間通して実施した。</p>	B
保健管理	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス対応 ・家庭との連携 ・日常の健康観察 ・健康診断 ・怪我や事故などの緊急事態発生時の対応 	<p>今年度はコロナウイルス対策に注力した一年だった。感染予防については、物品消毒、手指消毒液、子どもマスクなどの購入が衛生費の半分を占めた。保育後は、保育室内の備品、遊具、衣装などを徹底的に除菌した。昼食時の座席配置の工夫、各保育室の換気、子どもたちには手洗いうが</p>	A

	・ 職員の健康管理	いの励行、登園降園や保育中のマスク着用などを励行した。職員は毎朝体温を記録、保護者には園児の健康チェック表の記入をお願いした。 5, 6 月には園児の内科健診、歯科検診をおこなった。2 ヶ月に 1 回身長体重を測り、成長を記録した。	
安全管理	・ 防災計画の作成 ・ 危機管理マニュアルなどの作成と活用 ・ 安全点検、教職員の安全対応能力の向上 ・ 避難訓練	避難訓練を毎学期 1 回実施。5 歳児には防犯 DVD の鑑賞とお巡りさんのお話で、自分たちの安全意識を高めた。牛込警察署生活安全課防犯係の指導のもと、職員による不審者防犯訓練をおこなった。 また、正面入口の門と、さくら組の保育室に防犯カメラを設置した。非常通報装置を 3 ヶ月に 1 回点検、AED 機器は年一回の点検に伴い、使用方法の講習会を開催した。 備蓄品の見直しを 8 月におこない、新しく備蓄パンを購入した。	A
保護者との連携	・ 行事における保護者の参加 ・ 園だより、クラスだよりの発行 ・ 登園、降園時の対応	昨年度に続きコロナ禍であったが、内容を検討し、可能な限り行事を開催した。降園時には、子ども達の様子や連絡事項を伝え、その他の時間では個別に園での子どもの姿を伝えるよう努めた。毎月末には園だよりを、クラスだより、たて割り保育だよりも随時発行した。	B

4. 自己評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	キリスト教の信仰に基づくお祈りや月 1 回の礼拝は励行できた。また、新しい日常への対応として、保育や環境整備を、職員間で話し合いながら工夫しておこなった。

評価結果の表示方法

A=十分達成されている B=達成されている C=取り組まれているが、成果が十分ではない

D=取り組みが不十分である

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
特別支援 教育環境整備 子育て支援	特別支援保育への理解を深め、最適な援助を見出す。 古くなっている備品の見直し、園庭の整備 未就園児を対象としたプレ保育や園庭開放などで就園を促す

